

石炭(九州一種炭)	門司一萬斤	六月	五〇・七〇	七月	五三・二〇	八月	五四・一〇	九月	五三・〇〇	十月	四六・一〇	十一月	四五・一〇	一二月	四五・〇〇
石油(黒一羽)	東京一箱	一月	四・〇〇	二月	四・〇〇	三月	四・〇〇	四月	四・〇〇	五月	四・〇〇	六月	四・〇〇	七月	四・〇〇
原油(東山)	長岡一石	一月	七・七五〇	二月	八・七〇	三月	五・二〇	四月	四・一〇	五月	三・八一〇	六月	三・六〇	七月	三・五〇
硫黄	廟館(英崎)	二月	三三・五〇	三月	三〇・〇〇	四月	二九・五〇	五月	二八・〇〇	六月	二七・五〇	七月	二七・〇〇	八月	二六・五〇
		十一月	三〇・〇〇	十二月	三五・五〇	一月	三五・〇〇	二月	三五・〇〇	三月	三五・五〇	四月	三五・〇〇	五月	三五・〇〇
		至五月	至六月	至七月	至八月	至九月	至十月	至十一月	至一二月	至一月	至二月	至三月	至四月	至五月	至六月

銀

前年來印度正金銀行ノ破綻ニヨリ混亂セル銀市場モ倫敦銀行團ノ引受肩替スルアリ纔ニ小康ヲ保チテ越年セルカ大正三年春季ハ市場此引受銀ノ壓迫ヲ蒙ルコト著シク唯墨銀ノ產出減少スルアリテ幾分之ヲ輕減セルモ東洋方面ノ需要更ニ起ラス上海ノ滯銀增加瀕々報セラレ不況鈍狀ノ裡二十六片臺ノ小動搖ヲ繰返スニ過キサリシカ四月ニ入リテ銀行團ノ引受額全部處分済ノコト明瞭トナ加フルニ支那借款成立ノ氣構アリ市價稍引締リタル矢先米墨關係惡ニ陥リ開戰ノ曉ハ產額減少スヘシトノ思惑トナリ五月初旬二十七片臺ヲ唱ヘタルカ幾何ナラスシテ兩國ノ危機去リ支那借款亦成立ノ望絕ヘ同國經濟界不振ノ爲銀行ノ回収銀多額ニ上リタルノミナラス多少借款見越ノ思想買等モ有リシ結果上海ノ滯銀增加著シク印度ノ需要亦捲々シカラス六月ニ至リテ市價遂ニ二十五片臺ニ落込ミシカシカモ尙市場強氣材料ニ乏シク七月更ニ支那銀行筋ノ賣放シトナリ益下落シテ二十四片臺ヲ唱フルニ至レリ

斯クテ歐洲ノ大動亂勃發スルヤ八月初旬倫敦ニ於ケル銀取引一時停止セラレタルカ間モナク再開

等

スルヤ海上ノ危險ハ保險率及運賃ヲ暴騰セシメ米國ヨリノ輸入一時杜絶セルト英國造幣局ノ鑄貨用買入トニ刺擊セラレ單ニ直物取引ニ限ラレタリトハ云ヘ一時二十六片臺ニ上リ一面米國ニ於テモ輸出杜絶救濟ノ意味ニ於ケル米政府ノ鑄造用銀買上アリ稍活氣付キタルカ久シカラスシテ航海ノ危險一掃セラレ米銀ノ倫敦ニ輸送セラルルモノ多ク僅少ナル造幣用需要ハ以テ大勢ヲ維持スヘクモアラス支那ノ財政難經濟界ノ不振印度ノ戰亂ニ伴フ不況印度洋ノ危險等ハ東洋ノ需要ヲシテ殆ント杜塞セシムルコトトナリ其間多少ノ小波動ヲ見タルモ下落ノ大勢亦如何トモスルニ由ナク印度ノ豐作「エムデン」ノ擊沈モ唯思惑的強氣材料トナリシニ過キス十一月ニ入リテハ殆ント二十二片臺ヲ出ス年末僅カニ安値ニ刺擊セラレタル印度筋ノ注文弗々市場ニ現ハルルモノアルニ依リ實ニ明治四十一年來ノ安價ナカラ稍底強ク越年シタルノミ

此間我銀市場ニ於ケル特異ノ事情トシテハ七月以來日本銀行カ銀購入ヲ停止シ僅ニ先約物ノ引受ヲナスニ過キス九月ニ入リテ全然買入皆無トナリサナキタニ悲境ニアル銀界ハ其滯銀ノ増進報セラルアリテ一時悲觀セラレタルカ十月ニ入リテ臺灣銀行前者ニ代リテ之カ購入ヲナスコトトナリ不況ナカラ稍其緩和ヲ得タルコト是ナリトス

今大正三年中ニ於ケル平均市價ヲ舉クレハ左ノ如シ

月	次	大阪市場(一貫)	倫敦市場(一オース)	紐育市場(一オース)	香港市場(一九)
大正三年	二月	二四・〇	二五・二〇	二六・五	二七・五
大正二年	一月	二五・二〇	二六・五	二七・五	二八・五
大正三年	一月	二五・二〇	二六・五	二七・五	二八・五
大正二年	十二月	二五・二〇	二六・五	二七・五	二八・五
大正三年	十一月	二五・二〇	二六・五	二七・五	二八・五
大正二年	十月	二五・二〇	二六・五	二七・五	二八・五
大正三年	九月	二五・二〇	二六・五	二七・五	二八・五
大正二年	八月	二五・二〇	二六・五	二七・五	二八・五
大正三年	七月	二五・二〇	二六・五	二七・五	二八・五
大正二年	六月	二五・二〇	二六・五	二七・五	二八・五
大正三年	五月	二五・二〇	二六・五	二七・五	二八・五
大正二年	四月	二五・二〇	二六・五	二七・五	二八・五
大正三年	三月	二五・二〇	二六・五	二七・五	二八・五
大正二年	二月	二五・二〇	二六・五	二七・五	二八・五
大正三年	一月	二五・二〇	二六・五	二七・五	二八・五

平 均	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	一二月
四三〇	一九〇〇	一五七一〇	二六五三〇	二六七六〇	二六九九〇	二七〇一〇	二七〇三〇	二七〇五〇	二七〇七〇	二七〇九〇	二七一九〇
五一六八〇	一五八〇	一五九〇									
五一三三〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇
二七五六〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇
西八二二〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇
九九一〇〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇

銅

前年下押ノ趨勢歲末ニ至リ稍盛返シノ傾向アリシモ大正三年ニ入リテ又々下落ノ歩調ヲ秉リ滯銅關係及安値ニ煽ラレタル買進ミ等ニ依リ時々反動的微弱ナル上昇ヲ示シタルモ米國ニ於ケル產銅

界平靜ニシテ產額依然トシテ增加シ一方需要之ニ伴ハサリシ經過ハ市價ヲシテ月ヲ追ヒテ益下落セシメタリ

斯テ四月末米墨關係危殆ニ瀕シ產銅減少氣構ヘノ爲稍其上騰ヲ見タルモ程ナク平和ナル解決ヲ告ケタル結果又々不味ニ陥リ六月末既ニ六十磅臺ニ下落シタルカ七月ニ入り稍引返シテ六十一磅臺ヲ唱ヘ市價少シク回復シタルモ依然市況ハ一向引立タス下旬埃及ノ關係惡ヲ極ムルニ至リテ市場恐慌狀態ニ陥リ暴落相次キシカ須臾ニシテ大動亂ノ勃發トナリ遂ニ七月末日五十五磅十五志ヲ以テ倫敦市場閉鎖セラレ世界ハ銅價ノ標準ヲ失ヒ混沌トシテ其歸一スル處ヲ知ラナルノ狀態ニ沈淪シ年初以來支那輸出旺盛ニシテ倫敦相場ニ追随シツツモ比較的好況ヲ保チシ我市場モ借款不成立ニ因ル支拂ノ遲滯ニ加フルニ幣制改革ノ準備行爲トシテ銅貨鑄造制限ノコトアリ支那向次第二不勢ニシテサナキタニ不振ニ陥リツツアリシ折柄此混亂狀態ニ遭逢シテ產額ノ六割ヲ占ムル輸出ノ途ヲ失ヒ當業者殆ント困惑ノ色アリ相場ト稱スルモ單ニ個々ノ相對取引值段アルノミ窮迫日々ニ加ハリテ取引殆ント行ハレス戰亂勃發當時ヨソ一部ニ日露戰後ノ好況ナリシ經驗ト露國筋ノ購思惑ニヨル買氣モアリタレ輸出激減ノ事實ハ此等ノ幻想ヲ打破シテ銅界ヲ壓迫スルコト益甚シク滯銅一萬噸ヲ稱シテ流石ノ大手筋又頗ル難色アリ小銅山ノ休山瀕出シ市況漸ク慘憺タリ

翻ツテ一方米國ノ狀態ヲ見ルニ是亦戰亂ノ打撃ヲ受クルコト甚タシク七月以後銅業者其統計發表ヲ停止シタル爲詳細ハ之ヲ知ルニ由ナキモ產額半減ノ議セラルアリ供給ヲ減少シテ之カ調節ヲ計ラントセルモ内地需要挿々シカラサルノミナラス伊太利、和蘭、丁抹等ヘノ輸出激増セルヲ以テ獨逸ニ再輸入セラルモノナリトノ見解ニヨリ英國カ頻ニ之ヲ拿捕セル爲輸出ハ大打擊ヲ蒙リ市

價途ニ十一仙ニ下リ非常ナル悲境ニ陥リタリサレハ英國ニ於テモ此救濟的妥協策トシテ、一銅商ヲシテ米國銅ノ一手引受ヲ企圖セシメ其成ラサルヤ此機ヲ利用シテ一舉ニ獨商ノ地位ヲ打破セントスル大買占ヲ行ヒタルモノノ如ク一面所謂支拂猶豫ノ期盡キテ取引開始ノ必要ニ迫ラルアリ。一月初旬市場ノ整理ニ着手シ引續キ中旬金物市場ヲ再開シ公定相場ヲ發表セル事實ト呼應シテ銅界漸ク回復ノ緒ニ就キ五十三磅十五志ヲ以テ始マレルモノカ須臾ニシテ四磅トナリ五磅トナリテ繩上相場ヲ演出シ十二月ニ入リテ一時五十八磅ヲ稱シタルモ其後少シク引返シテ五十七磅トナリ相場人爲ニ出ツルカ如シトノ不安ハ即チ是レ有リシト雖モ市況非常ニ手堅ク越年シタリ。我市場モ亦十月頃ヨリ十一月ニ亘リテ甚シキ悲境ニ陥リ一時九八銅二十五圓迄落込ミシモ月末ヨリ露國ヘノ大口輸出アリ英米ヘノ輸出モ多額ニ上リ價格ハ低廉ナリシモ著シキ荷捌ヲ見タル爲市況稍引立チシニ偶々倫敦市場ノ公開アリ其好況ヲ傳ヘタルヲ以テ我市場モ亦次第ニ活氣ヲ呈シ漸ク思惑買サヘ現ハルニ至リ秩序間モナク回復ノ途ニ就キ不況ナカラ小康ヲ得テ當業者漸ク愁眉ヲ開キタリ。

参考ノ爲銅市價月別表、米國銅輸出表並ニ歐米滯銅表ヲ擧クルコト左ノ如シ

銅市價月別表

月 次	大阪市場（百斤）		倫敦市場（標準銅）		紐育市場（電封氣銅）	
	大正三年	大正二年	大正三年	大正二年	大正三年	大正二年
一月	三五三〇	四一四〇	西二三九	七一七四	四一三三	六一四八
二月	三五三〇	三九一〇	西二二七	七一七四	四一三三	六一四八
三月	三五三〇	三九一〇	西二二七	七一七四	四一三三	六一四八
四月	三五三〇	三九一〇	西二二七	七一七四	四一三三	六一四八
五月	三五三〇	三九一〇	西二二七	七一七四	四一三三	六一四八
六月	三五三〇	三九一〇	西二二七	七一七四	四一三三	六一四八
七月	三五三〇	三九一〇	西二二七	七一七四	四一三三	六一四八
八月	三五三〇	三九一〇	西二二七	七一七四	四一三三	六一四八
九月	三五三〇	三九一〇	西二二七	七一七四	四一三三	六一四八
十月	三五三〇	三九一〇	西二二七	七一七四	四一三三	六一四八
十一月	三五三〇	三九一〇	西二二七	七一七四	四一三三	六一四八
十二月	三五三〇	三九一〇	西二二七	七一七四	四一三三	六一四八

英 國 別 利	英國銅輸出國別表		米國銅輸出國別表		英 國 別 利	
	年 大 正 三 年	年 大 正 二 年	年 大 正 三 年	年 大 正 二 年	年 大 正 三 年	年 大 正 二 年
英 國 別 利	一 三 五	一 三 五	一 三 五	一 三 五	一 三 五	一 三 五
英國	五二六九	五二六九	五二六九	五二六九	五二六九	五二六九

佛獨白和伊塊瑞丁其太耳太西逸蘭義利抹典他			
合計	西	蘭	佛
三六〇六	二八七六	二三八〇九	二八四五二
三九五〇	三九五〇	三九五〇	三九五〇
八六四九	八六四九	八六四九	八六四九
一四五九	一四五九	一四五九	一四五九
二七二九	二七二九	二七二九	二七二九
一四五九	一四五九	一四五九	一四五九
六五八六	六五八六	六五八六	六五八六
一六五九	一六五九	一六五九	一六五九
二八六七	二八六七	二八六七	二八六七
三六一〇	三六一〇	三六一〇	三六一〇
一四四六	一四四六	一四四六	一四四六

歐米月末滯銅表
大正三年
歐洲
米國
大正二年
歐洲
米國
大正三年
歐洲
米國
大正二年
歐洲
米國
大正三年
歐洲
米國
大正二年
歐洲
米國

月次	一	二	三
大正三年	二五九〇〇	二五〇〇〇	二五〇〇〇
歐洲	英兩	英兩	英兩
米國	英兩	英兩	英兩
大正二年	四三一〇〇	四四七〇〇	四五一〇〇
歐洲	英兩	英兩	英兩
米國	英兩	英兩	英兩
大正三年	三八七〇〇	三五〇〇〇	三六〇〇〇
歐洲	英兩	英兩	英兩
米國	英兩	英兩	英兩
大正二年	四五一〇〇	四五七〇〇	四五九〇〇
歐洲	英兩	英兩	英兩
米國	英兩	英兩	英兩

月	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
月	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元
月	三五三〇〇											
月	三五三〇〇											
月	三五三〇〇											
月	三五三〇〇											
月	三五三〇〇											
月	三五三〇〇											
月	三五三〇〇											
月	三五三〇〇											
月	三五三〇〇											
月	三五三〇〇											
月	三五三〇〇											

鐵

鋼鐵 初春以來本國相場ノ影響ヲ受ケ商況不振ニシテ市價低落ヲ告ケタルノミナラス需要モ亦一

般財界ノ沈靜ニ連レテ減退シタル爲輸入停滯品甚シク加フルニ内地產額モ逐年增進ノ傾向ヲ辿リツツアルコトテ供給過剩トナリ遂ニ需給ノ平衡ヲ失シテ五六月頃ニハ二三當業者ノ破綻報セラルアリ相場ノ如キ輸入原價以下ニ降ルノ狀態ニテ甚シキ不況ニ陥リシカ八月ニ入リテ歐洲戰亂勃發スルヤ之ヲ機トシテ獨、白物ノ輸入杜絶テフ好材料ヲ口實トシ年來ノ不況ヲ一舉ニ回復セント

シ市價殆ント倍加ノ暴騰ヲ告ケタルカ需要ハ突飛ナル高價ト事業界ノ不振トニヨリ益減却スルノミナラス在荷潤澤ニシテ輸入杜絕モ何等著シキ強硬材料ヲ與ヘス幾何ナラスシテ次第ニ低落ノ途ニ就キ引續キ戰前積出物ノ入津、積替物ノ着荷等アリ市況愈鈍狀ニ陥リ金融關係上投賣物サヘ市場ニ現ハルルコトトナリ一方造船材料等ノ需要増加ノ曙光ヲ認メ氣配稍底強キモノアルニ拘ラス不振ノ儘年ヲ閱スルノ止ムヲ得サル有様ナリキ

銑鐵・是亦前者ト大體同一ノ傾向ヲトリ殊ニ戰後ハ其需要減退シ輸入モ印度物ノ買入自由ナル關係上品不足ヲ來ス處ナキ爲氣配一向ニ引立タス通年不振ノ狀態ヲ持続シタリ

若シ夫歐洲市場ニ至リテハ戰前既ニ不振ニシテ需要供給ニ伴ハス英獨ノ競爭ハ益市價ヲ低落セシメ英國ノ如キ一部ニ於テ生產制限ヲ行ヒ以テ其市價ノ維持ヲ計レル狀態ナリシカ戰亂勃發後ハ輸出激減シ生產費次第ニ昂騰スル關係上市價ハ著シキ下落ヲ示ササリシモ一般ニ不況ノ域ヲ脱セス唯年末ニ及ヒテ軍事方面ノ需要漸ク旺盛ナラントスルモノノアリ稍強氣配ヲ示スニ至レリ

今月別鐵市價ヲ舉クレハ左ノ如シ

月 次	東京洋鐵(丸鐵四分)(十貫)		橫濱銑鐵(レッドカーボン)(百斤)		英國銑鐵(ミンドロスボー)(一英噸)	
	大正三年	大正二年	大正三年	大正二年	大正三年	大正二年
一月	二六九	二六九	二五五	二五五	五〇二	五〇二
二月	二六七	二六七	二五三	二五三	五〇九	五〇九
三月	二六〇	二六〇	二五〇	二五〇	五〇七	五〇七
四月	二五七	二五七	二四八	二四八	五〇五	五〇五
五月	二五〇	二五〇	二四六	二四六	五〇三	五〇三
六月	二四五	二四五	二四四	二四四	五〇一	五〇一
七月	二四九	二四九	二四三	二四三	五〇〇	五〇〇
八月	二四七	二四七	二四二	二四二	四九九	四九九
九月	二四五	二四五	二四一	二四一	四九八	四九八
十月	二四三	二四三	二四〇	二四〇	四九七	四九七
十一月	二四一	二四一	二三九	二三九	四九六	四九六
十二月	二三九	二三九	二三八	二三八	四九五	四九五

平 均	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	一	二	三
二九四	二六一	二五〇	二四九	二四八	二四七	二四六	二四五	二四四	二四三	二四二	二四一	二三九	二三八
二九七	二六〇	二五〇	二四九	二四八	二四七	二四六	二四五	二四四	二四三	二四二	二四一	二三九	二三八
二六〇	二六〇	二五〇	二四九	二四八	二四七	二四六	二四五	二四四	二四三	二四二	二四一	二三九	二三八
二六九	二六九	二六〇	二五九	二五八	二五七	二五六	二五五	二五四	二五三	二五二	二五一	二三九	二三八
五〇四	五〇四	五〇三	五〇二	五〇一	五〇〇								

雜鑛物

亞鉛・前年來ノ不況ヲ受ケ一面內地生產品增加等ノコトアリ旁々次第ニ低落ノ傾向アリシカ戰亂

ノ勃發ト共ニ獨白ヨリノ輸入杜絕テフ強硬材料ニ煽ラレ次第ニ強氣配トナリシモ十一月稍引返シ十二月ニ入りテ又々騰貴ノ氣勢ヲ示シ以テ年ヲ終レルカ一面供給方面ニ於テハ輸入塊ハ前年ニ比

シ半減シタルモ生産品ハ著シキ激増ヲ示シ既ニ前年輸入額ノ疊ラ摩スルモノアリ供給總額ニ於テハ前年ニ比シ著シク増進シタレトモ尙好況ヲ維持セルハ戰後軍事方面ノ需要盛ナリシト獨白ノ輸出杜絕ハ世界ノ亞鉛供給ヲ半減シ本場ノ市價ヲシテ次第ニ昂騰セシメタルコト及内地生産者協定ノ事情等ニ據ルモノト觀測セラル

若シ夫亞鉛板ニ至リテハ全然其供給ヲ輸入ニ仰クモノナルヲ以テ獨白ヨリノ供給絶止ハ在荷ノ激減ヲ來シ著シキ騰貴ヲ示シタリ

然ルニ前二者ト異ナリ亞鉛礦石ハ戰亂ニヨリテ惡影響ヲ蒙リ從來主シテ其販路ヲ獨白ヘノ輸出ニ求メタル關係上甚タシキ打擊ヲ受ケ殊ニ品位低キモノハ全ク其需要ナク甚シキ悲境ニ陥レリ安質母尼前年來ノ頗勢挽回スルニ由ナク十二圓臺ニ沈滯シテ不況ヲ極メタル安質母尼モ八月戰亂開始ト共ニ一躍十四圓臺トナリ軍用トシテノ需要旺盛ニシテ英米露ヘノ輸出及内地ノ消費著シク增加シ一方原產地タル支那ニハ戰亂ノ影響、長江ノ減水、高價思惑ノ賣惜ミ等ノ事故アリ供給意ノ如クナラス價格頻ニ昂騰シテ十二月ノ平均二十七圓ヲ稱シ年來ノ不振全ク面目ヲ一新シ活氣横溢ノ裡ニ年ヲ終レリ

錫是亦年初ヨリ市況不活潑ニシテ低落相次キ七月ニハ九十四圓ニ落込ミシカ時恰モ品薄ノ折柄戰爭勃發セルコトトテ輸入ノ杜絕及軍需要增加ノ思惑ハ一躍倍加ノ暴騰ヲ來セシカ間モナク新嘉坡ノ錫事情明瞭トナリ歐洲行減少ノ結果寧ロ其販路ヲ東洋ニ求ムル必要アリ供給却ツテ増進スヘキ傾向ナリシヲ以テ市價激落シ却ツテ戰前以下ノ不味ニ陥リ年末稍昂進ノ氣配ヲ示シタルニ過キサリキ

雜鐵物市價月別表
一 亞鉛市價

平 均	月 次											
	大正三年	大正二年										
四五〇	四五〇	四五〇	四五〇	四五〇	四五〇	四五〇	四五〇	四五〇	四五〇	四五〇	四五〇	四五〇
五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇
：	：	：	：	：	：	：	：	：	：	：	：	：
三七〇	三七〇	三七〇	三七〇	三七〇	三七〇	三七〇	三七〇	三七〇	三七〇	三七〇	三七〇	三七〇
五三三	五三三	五三三	五三三	五三三	五三三	五三三	五三三	五三三	五三三	五三三	五三三	五三三
五六八	五六八	五六八	五六八	五六八	五六八	五六八	五六八	五六八	五六八	五六八	五六八	五六八
五六四	五六四	五六四	五六四	五六四	五六四	五六四	五六四	五六四	五六四	五六四	五六四	五六四
五六〇	五六〇	五六〇	五六〇	五六〇	五六〇	五六〇	五六〇	五六〇	五六〇	五六〇	五六〇	五六〇
五五九	五五九	五五九	五五九	五五九	五五九	五五九	五五九	五五九	五五九	五五九	五五九	五五九
五二三	五二三	五二三	五二三	五二三	五二三	五二三	五二三	五二三	五二三	五二三	五二三	五二三
五六八	五六八	五六八	五六八	五六八	五六八	五六八	五六八	五六八	五六八	五六八	五六八	五六八

二 錫市價

月次	大坂市場(百斤)	倫敦市場(一英噸)	紐育市場(一封度)
大正三年	大正二年	大正三年	大正二年
一月	一九・九〇	三六・三〇	四一・五二
二月	一四・〇〇	三八・一〇	四〇・四〇
三月	一五・一〇	三九・二〇	四一・一〇
四月	一六・〇〇	三九・一〇	四一・一〇
五月	一六・一〇	三九・一〇	四一・一〇
六月	一六・一〇	三九・一〇	四一・一〇
七月	一六・一〇	三九・一〇	四一・一〇
八月	一六・一〇	三九・一〇	四一・一〇
九月	一六・一〇	三九・一〇	四一・一〇
十月	一六・一〇	三九・一〇	四一・一〇
十一月	一六・一〇	三九・一〇	四一・一〇
十二月	一六・一〇	三九・一〇	四一・一〇

三 鉛市價

月次	大阪市場(百斤)	倫敦市場(一英噸)	紐育市場(一封度)
大正三年	大正二年	大正三年	大正二年
一月	一一・一七〇	一九・六五	四一・二二
二月	一一・一七〇	一九・六五	四一・二二
三月	一一・一七〇	一九・六五	四一・二二
四月	一一・一七〇	一九・六五	四一・二二
五月	一一・一七〇	一九・六五	四一・二二
六月	一一・一七〇	一九・六五	四一・二二
七月	一一・一七〇	一九・六五	四一・二二
八月	一一・一七〇	一九・六五	四一・二二
九月	一一・一七〇	一九・六五	四一・二二
十月	一一・一七〇	一九・六五	四一・二二
十一月	一一・一七〇	一九・六五	四一・二二
十二月	一一・一七〇	一九・六五	四一・二二

石 炭

近年稀有ノ般賑ヲ極メタル大正二年ノ石炭市場ハ本年ニ入リテ其餘勢ヲ持續シ活氣横溢ノ姿ナリシモ三月下旬頃ヨリ漸ク逆轉シ市價三月ヲ以テ最高潮トナシ徐々低落ノ途ニ就キ各市場ノ貯炭漸次増加シテ供給過剩ヲ馴致シ五月末遂ニ筑豊ニ於ケル採炭制限ヲ見ルニ至リタルモ大勢依然トシテ不振ヲ脱セス時恰モ需要閑散期ニ入りテ市況益不活潑トナリシカ偶々歐洲戰亂ノ勃發スルアリ悲觀樂觀交行ハレシカ日露戰ノ經驗ニ因ル思惑ト内地手控ヘ筋ノ買進等アリ其他外國艦船引揚用ノ需要等アルアリ一時多少活氣ヲ帶ヒシモ其後幾何モナク樂觀派ノ豫期ニ反シテ輸出更ニ捲々シカラス内地消費特ニ不況ニシテ唯僅ニ御用船等ノ需要ニ依リ一等炭稍活躍シタルノミ商況愈非ニシテ十一月頃ヨリハ一等炭モ亦軟弱トナリ年末ノ貯炭主要產地ノ市場及山元ヲ合セテ約二百萬噸ニ及ヒ年初ノ好況全ク地ヲ拂ヒ甚シキ不況ノ裡ニ年ヲ翻スルノ止ムヲ得サルニ至レリ

此不況ヲ來セルモノノ如シ

即チ我經濟界ハ年初既ニ消極的ニシテ諸事業緊縮ノ色アリ引續キ戰亂ノ勃發スルアリテ世界經濟

攪亂ノ餘波我市場ニ及ヒ諸工業ノ打撓ヲ蒙ムルコト渺少ナラス從ツテ内地ニ於ケル石炭ノ需要力

ハ著シキ減却ヲ來シ又東洋ニ於ケル我石炭需要市場モ一般ニ不況ナリシノミナラス地元高ニ因ル

本邦炭ノ高價、支那炭ノ發展、東洋來航船舶ノ激減、銀價ノ下落ニ伴フ爲替ノ不利等ハ輸出炭ノ不振

ハ好況ニ煽ラレタル炭價ノ人爲的躍進ニ對スル反動ト日露戰當時ノ活潑ナリシ經驗ニ比シ事態甚シク豫想ニ反スルモノアルニ因ルカ如シ

今左ニ炭價月別表及重要市場貯炭表ヲ掲クヘシ

炭價月別表

月	次	九 州		同 (東京)		磐城炭 (隅田川)		夕張炭 (小樽)	
		種	炭	種	炭	種	炭	種	炭
一 月	大正三年 四月	五三・七〇	四五・一四	大正三年 四月	五〇・一〇	大正三年 四月	七〇・三三	大正三年 四月	五一・〇〇
二 月	大正二年 五月	五四・七〇	四五・三四	大正二年 五月	五〇・一〇	大正二年 五月	七〇・三〇	大正二年 五月	五一・〇〇
三 月	大正三年 六月	五四・七〇	四五・一四	大正三年 六月	五〇・一〇	大正三年 六月	七〇・三〇	大正三年 六月	五一・〇〇
四 月	大正二年 七月	五四・一四	四五・五四	大正二年 七月	五〇・一〇	大正二年 七月	七〇・三〇	大正二年 七月	五一・〇〇
五 月	大正三年 八月	四五・一四	四五・三〇	大正三年 八月	五〇・一〇	大正三年 八月	七〇・三〇	大正三年 八月	五一・〇〇
六 月	大正四年 九月	四五・一四	四五・一八	大正四年 九月	五〇・一〇	大正四年 九月	七〇・三〇	大正四年 九月	五一・〇〇
七 月	大正四年 十月	四五・一四	四五・一八	大正四年 十月	五〇・一〇	大正四年 十月	七〇・三〇	大正四年 十月	五一・〇〇
八 月	大正四年 十一月	四五・一四	四五・一八	大正四年 十一月	五〇・一〇	大正四年 十一月	七〇・三〇	大正四年 十一月	五一・〇〇
九 月	大正四年 十二月	四五・一四	四五・一八	大正四年 十二月	五〇・一〇	大正四年 十二月	七〇・三〇	大正四年 十二月	五一・〇〇
十 月	大正五年 一月	四五・一四	四五・一八	大正五年 一月	五〇・一〇	大正五年 一月	七〇・三〇	大正五年 一月	五一・〇〇
十一 月	大正五年 二月	四五・一四	四五・一八	大正五年 二月	五〇・一〇	大正五年 二月	七〇・三〇	大正五年 二月	五一・〇〇
十二 月	大正五年 三月	四五・一四	四五・一八	大正五年 三月	五〇・一〇	大正五年 三月	七〇・三〇	大正五年 三月	五一・〇〇

ヲ致シ輸出船舶用炭亦來航外船ノ減退ニヨリテ影響セラル所少カラス更ニ一面供給狀態ヲ觀ルニ前年ノ好況ニ刺擊セラレタル產炭增加ハ筑豊ニ於ケル六月以降ノ採炭制限及四月以來ノ不況ニ依リテ其氣勢著シク減殺セラレタルモ尙前年ニ比シ約一百萬噸ノ增進ヲ示シ加フルニ支那炭輸入ノ激増スルアリ需要ノ減少ニ對シテ供給ハ益過剩ノ逆勢ヲ來シタルカ炭界不振ノ内ニカカル輸入ノ増進ヲ見タルハ蓋シ前年末ノ本邦炭價昂進ニ起因スルモノト觀測セラル而シテカノ人氣ノ銷沈ハ好況ニ煽ラレタル炭價ノ人爲的躍進ニ對スル反動ト日露戰當時ノ活潑ナリシ經驗ニ比シ事態甚シク豫想ニ反スルモノアルニ因ルカ如シ

油原料トシテノ供給ニハ大ナル影響ナキカ如キモ尙ホ需要ニ比シ供給著シク增加ヲ告ケ一方製油ハ協定ニ依リ春季ノ競争時期ノ安値ヲ除キ兎毛角高價ヲ維持シタルモ市場ノ停滯品常ニ多額ニ上リシ關係上原油ハ次第ニ不況ニ陥リテ市價著シク低落シ燃料トシテノ販路多少擴大シタルカ如キモ大ナル影響ヲ來スニ至ラス年平均ニ於テ東山相場實ニ二圓二十七錢ノ暴落ヲ示シタリ而シテ年内五六月ノ頃稍盛返セルハ製油協定再成立ノ餘勢ヲ受ケタルモノノ如ク九月ニ於テ再反動的上値ヲ示シタルハ是亦製油市價ノ値上ケニ刺擊セラレタルモノニ係リ十月以降持合ノ状態ヲ以テ越年シタリ

燈油・四社協定ニヨリ市價ハ即チ之ヲ維持スト雖モ停滯品多額ニ上リ協定價格ノ維持頗ル困難ナルヘシト思惟セラレタル燈油市場ハ大正三年ニ入リテ益其貯藏品ノ處置ニ苦シミ二月遂ニ協定ノ破裂トナリ内油側モ安値ニヨリテ其停滯品ヲ一掃セントシタルモ競争ニ依ル安値見越ト實際需要ノ減退トニヨリ荷捌渉々シカラスシテ意ノ如ク其目的ヲ達スルコト能ハス却ツテ競争ノ不利ヲ被ルト尠ナカラサリシヲ以テ四月末妥協成立シテ協定價格發表セラレ一齊ニ値上行ヒ以テ純狀ノ間七月末ニ及ヒタリシカ偶戰亂ノ勃發スルアリ英油輸入ノ杜絕米油ノ減少豫想セラレ思惑的ノ活氣漸ク市場ニ漲リ八月内外油共ニ値上ケヲ斷行セシカ其後英油ノ輸入ハ即チ減退シタリト雖モ米油ハ何等ノ支障ヲ感セス内油產額ノ增加依然タルアリ一面地方一般ノ不況ト米價ノ下落トハサナキタニ年々低下シツツアル需要ヲシテ益減退セシメ輸入減少ニ因ル總供給額ノ減却モ以テ之ニ追隨

スル能ハス月ノ進ムニ從ヒ市場愈不振ニシテ又モヤ停滯品ノ處分ニツキ難色アルモノノ如ク市價亦名目タルニ過キサラントスル傾向アルニ至レリ

今翻ツテ石油界需要ノ大勢ヲ概觀スルニ燈火用トシテノ需要ハ年々減少スルノ傾向アリ其將來ハ寧ロ動力用トシテノ需要ニアルモノノ如ク特ニ石油政策ハ國防上重要ナル一項目タラントスル入關係上燃料トシオノ石油ハ益有希望ナルモノノ如シ而シテ之ヲ我國ノ現狀ニ見ルニ内油ノ產額ハ年々増加スルモ輸入油ハ益減退シ其總供給額ニ於テ機械油燃料油ハ次第ニ増加ノ傾向アルモ燈油ハ即チ然ラス今後モ亦増進ノ期待スヘキナシ斯くて燈油需要ノ減退ト内國產燈油ノ增加トハ内外油協定ヲシテ益困難ナラシムルモノアリ一面原油產額ノ激増ハ之カ販路ヲ求ムル必要ヲ生シ艦船用其他ノ動力用ノ燃料問題ト呼應シテ石油界ハ今後益多事ナラントスルモノノ如シ

原油市價月別表

月 次	一 月	二 月	三 月	四 月	五 月
東 山 油	大 正 三 年	大 正 二 年	大 正 三 年	大 正 二 年	大 正 三 年
七 五 〇	五 七 〇	五 七 〇	八 〇 〇	八 〇 〇	八 〇 〇
六 五 〇	五 五 〇	五 五 〇	八 〇 〇	八 〇 〇	八 〇 〇
八 〇 〇	三 五 〇	三 五 〇	三 〇 〇	三 〇 〇	三 〇 〇
五 八 〇	五 七 〇	五 七 〇	五 六 〇	五 六 〇	五 六 〇
五 八 〇	五 七 〇	五 七 〇	五 五 〇	五 五 〇	五 五 〇

第六章 鑛産物ノ市價 (石油)											
一七八											
月	六	五	四	三	二	一	十	九	八	七	六
	五八〇〇	五七〇〇	五六〇〇	五五〇〇	五四〇〇	五三〇〇	五二〇〇	五一〇〇	五〇〇〇	四九〇〇	四八〇〇
平 均	五九〇〇	五八〇〇	五七〇〇	五六〇〇	五五〇〇	五四〇〇	五三〇〇	五二〇〇	五一〇〇	五〇〇〇	四九〇〇
	一一六〇	一一五〇	一一四〇	一一三〇	一一二〇	一一一〇	一一〇〇	一〇九〇	一〇八〇	一〇七〇	一〇六〇

第六章 鑛産物ノ市價 (石油)											
一七八											
月	大正三年	大正二年	大正三年								
	四・三九〇	四・三八〇	四・三七〇	四・三六〇	四・三五〇	四・三四〇	四・三三〇	四・三二〇	四・三一〇	四・三〇〇	四・二九〇
月	四・一九〇	四・一八〇	四・一七〇	四・一六〇	四・一五〇	四・一四〇	四・一三〇	四・一二〇	四・一一〇	四・一一〇	四・一〇〇
	三・九五〇	三・九四〇	三・九三〇	三・九二〇	三・九一〇	三・九〇〇	三・八九〇	三・八八〇	三・八七〇	三・八六〇	三・八五〇
月	三・八四〇	三・八三〇	三・八二〇	三・八一〇	三・八〇〇	三・七九〇	三・七八〇	三・七七〇	三・七六〇	三・七五〇	三・七四〇
	三・七一〇	三・七〇〇	三・六九〇	三・六八〇	三・六七〇	三・六六〇	三・六五〇	三・六四〇	三・六三〇	三・六二〇	三・六一〇

第六章 鑛産物ノ市價 (石油)											
一七八											
月	大正三年	大正二年	大正三年								
	四・一九〇	四・一八〇	四・一七〇	四・一六〇	四・一五〇	四・一四〇	四・一三〇	四・一二〇	四・一一〇	四・一一〇	四・一〇〇
月	四・一九〇	四・一八〇	四・一七〇	四・一六〇	四・一五〇	四・一四〇	四・一三〇	四・一二〇	四・一一〇	四・一一〇	四・一〇〇
	三・九五〇	三・九四〇	三・九三〇	三・九二〇	三・九一〇	三・九〇〇	三・八九〇	三・八八〇	三・八七〇	三・八六〇	三・八五〇
月	三・九四〇	三・九三〇	三・九二〇	三・九一〇	三・九〇〇	三・八九〇	三・八八〇	三・八七〇	三・八六〇	三・八五〇	三・八四〇
	三・九三〇	三・九二〇	三・九一〇	三・九〇〇	三・八九〇	三・八八〇	三・八七〇	三・八六〇	三・八五〇	三・八四〇	三・八三〇
月	三・九二〇	三・九一〇	三・九〇〇	三・八九〇	三・八八〇	三・八七〇	三・八六〇	三・八五〇	三・八四〇	三・八三〇	三・八二〇
	三・九一〇	三・九〇〇	三・八九〇	三・八八〇	三・八七〇	三・八六〇	三・八五〇	三・八四〇	三・八三〇	三・八二〇	三・八一〇

硫 黃

前年來ノ不況依然トシテ面目ヲ改メス月ヲ追フテ低落ヲ重ネ年末實ニ三十圓テフ年内ノ最低價ヲ示シ多大ノ貯藏品ヲ擁シテ越年スルノ止ムヲ得サルニ至レリ

今之カ原因ヲ檢スルニ其主要ナルモノハ輸出ノ減少ト產額ノ増進トニアリ即チ輸出ハ五萬七百噸ニシテ前年ノ五萬三千四百噸ニ比シ二千七百噸ノ減退ヲ示シタルニ產額ハ七萬二千九百噸ニシテ前年ノ五萬八千百噸ニ對シ一万四千八百噸ノ増加ヲ來シ輸出ヲ以テ主要販路トスル硫黃市場ノコトヲ著シキ供給過剰ノ狀態ニ陥リ低落一方ノ悲運ニ際會シタルモノナリトス而シテ主要輸出先

タル北米合衆國及濠洲ノ需要減退セル事由ヲ案スルニ前者ニアリテハ戰亂ニヨル米國一般經濟界ノ不況及船腹不如意ノ事實アリ殊ニ本邦硫黃供給過剩ノ事實周知セラレタルコト及輸出商間ノ競争トハ一方ルイジアナ硫黃移入ヲ名トスル需要側ノ強硬ト相俟チテ硫黃市價低落ニ資スル所大ナルモノアリ一面濠洲ニアリテハ小麥凶作ノ爲硫酸肥料原料トシテノ需要減退シタルコト其主ナル原因ナリト認メラル

今函館ニ於ケル月別市價表ヲ舉クレハ左ノ如シ

函館市場硫黃市價月別表

月次	大正三年											
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
大正二年	三五.〇〇											

平均	十九二一年月月月月											
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
三一.〇〇	三〇.〇〇	三〇.〇〇	三一.〇〇	三〇.〇〇								